



## JR川崎駅前宣伝行動

6月10日、「区民の会」主催、定例のJR川崎駅前宣伝を行いました。

東京都大田区で活動されている「羽田空港増便問題を考える会」から松島さんが参加し、5月4日に実施した「緊急騒音調査」結果の報告を行いました。

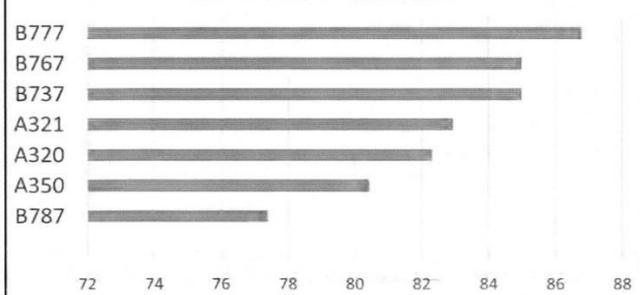
「緊急騒音調査」では、5月に入り航空需要が回復し3時間に64便が

川崎上空に向けて離陸しました。騒音測定場所は海老取川に隣接した羽田6丁目五十間鼻



無縁仏堂の前で、全便が75dbを超え、94%が80dbを超えました。最高値は日本航空B737型機が88.4dbを記録しました。(80dbは地下鉄の車内と同程度の騒音値です)。

機種別騒音平均測定値db



### 「公害病患者と家族の会」の訴え



会から数名の方が宣伝に参加され、昼間さんは次の様に訴えました。川崎市は「ぜん息患者救済制度」を廃止しようとしています。ぜん息患者数が増加傾向にあるいま、救済制度が廃止されれば、経済的な理由で医療機関による適切な治療が出来なくなり、ぜん息患者の命に係わる問題です。「ぜん息患者救済制度」を守るために共に声を上げていきましょう！

## 第28回 公害・環境・健康 まちづくりフェスタ

日本最大の京浜工業地帯のど真ん中に位置し、高度経済成長時代に大気汚染によって多くの市民が健康をそこない、亡くなった方もいました。被害を受けた患者同士で「患者会」を作り、「きれいな空気と生きる権利」を求め、1982年に国、道路公団、企業を相手に川崎公害裁判を起こし、1996年公害排出企業と1999年に国、道路公団と和解しました。この裁判闘争の一環としてこれまでフェスタを27回開催しています。

5月21日(日)、JR溝ノ口駅前ペDESTリアンデッキで市内各地の環境・まちづくりの活動報告がありました。小・中・高校生が「気候危機」について発表しました。医療・年金の相談コーナー、ジャズバンドや沖縄舞踊など、多彩な企画でした。

「川崎区民の会」はパネルの展示、ニュースの配布を行い、中央舞台のスピーチで『新飛行ルートの実況』、『福田市長の姿勢(「公開質問状を無視」)』、『区内町会長のみなさんの声(コンビナート事故が心配、問題を共有したい)』について報告しました。



### 《 7・8月行動計画 》

- ☆ JR川崎駅東口宣伝
  - 7月15日(土) 14時～15時
  - 8月12日(土) 14時～15時
- ☆ 拡大世話人会(教育文化会館 第3会議室)
  - 7月28日(金) 15時～16:30
  - 8月25日(金) 15時～16:30
- ☆ シマホ前宣伝
  - 7月11日(火) 15時～16時
- ☆ 京浜急行川崎大師駅前
  - 7月22日(土) 14時～15時
  - 8月26日(土) 14時～15時